

令和8年度スタート | 地域協働プロジェクト

かける  
「翔くん・この指とまれプロジェクト」  
募集のご案内

北海道石狩翔陽高等学校

文部科学省・DXハイスクール指定校

# 翔（かける）くん とは…？

## 「翔」から飛び出した 石狩翔陽高校の妖精

令和4年に誕生した翔（かける）くん。

石狩翔陽高校のブランドイメージを、総合学科ならではの多岐にわたる専門性を有する生徒から募集し決定しました。

当時の美術工芸部の生徒の案をが採用され、現在に至ります。



北海道石狩 **翔** 陽高等学校

# プロジェクトのビジョン

## 石狩を 「学びのハブ」へ

石狩翔陽高校は、学校の中だけでは完結しない「生きた学び」を求めています。

地元の企業の皆様をパートナーとして迎え、高校生と企業が双方向に刺激し合い、将来的に「**地域に還元できる人材**」を共に育てるエコシステムを目指します。



**学校 × 地域企業 = 未来の人材**

# 目指す生徒像（ゴール）

---

自ら課題を設定し  
新たな価値創造・提案することを通し

**社会の発展に寄与する人材**

---

の育成

# 本校の特徴（リソース）



**総合学科一石狩市 繋がる多様性**

## 道内最大規模の「総合学科」

- ◆総合学科とは、普通教育（国語・数学・理科などいわゆる普通教科）と専門教育（商業・理数・福祉・看護・情報・家庭・体育・芸術など）を総合的に学べる学科。
- ◆石狩翔陽高校は道内19校の総合学科の中で最大規模。  
(1学年8クラス×3＝全24学級)
- ◆体系的なキャリア形成プログラムによる将来を見通した充実のキャリア教育。

## 多岐にわたる専門教科・科目

- ◆選択科目は160科目超。
- ◆専門教科は、看護・福祉・情報・商業・芸術（音楽/美術/書道/工芸）・体育・語学（露/中）など。石狩市内の多様な企業・業種とマッチング可能。

## 多様な興味・関心

- ◆各教科・科目・部活動・探究活動における学習・探究テーマ。
- ◆総合学科の利点を活かした、特定の分野に偏らない課題設定。

# デジタル人材の育成強化

文部科学省 指定事業

## DX ハイスクール

デジタル等成長分野を支える  
人材育成の拠点校

最先端のICT教育を推進

令和6年度より文部科学省の指定を受け、デジタル分野での人材育成に力を入れています。

### 🏢企業様へのメリット

デジタルネイティブな高校生の発想やスキルを、貴社の課題解決やDX推進のヒントとして活用いただけます。

# 支援対象となる主な探究活動

1年次から段階的に学びを深め、3年次の「課題研究」で集大成を迎えます。

## 1年次 産業社会と人間

自己の適性や地域の産業を知り、キャリアの第一歩を踏み出す。

🔍職業人インタビュー等

## 2年次 総合的な探究の時間

興味ある分野で課題を設定し、情報の収集・分析を行う。

📍フィールドワーク等

## 3年次 課題研究

高校3年間の集大成。専門的な視点を取り入れ、探究を深める。

🏢企業の専門知見が不可欠

これ以外に、**160科目を超える選択科目**や**部活動等**においても支援していただける企業を探しております。

# なぜ、企業の皆様なのか？

本校の生徒は多様な進路希望を持っていますが、学校教員だけでは専門的な「実社会の知見」をカバーしきれません。

## ✦支援の重要性

「この分野について深く知りたい」という生徒の熱意に応えるためには、その道のプロフェッショナルである皆様のサポートが必要です。

石狩湾新港地域や長く石狩市に根ざしている企業など、多様な企業が集積する石狩市だからこそ、実現できる学びがあります。



# お願いしたいご支援

 通年・定期的である必要はありません



## ヒアリング・インタビュー

生徒の質問に対して、実務経験に基づいたアドバイスや回答をお願いします。（オンライン可）



## 現場見学・訪問

「働く現場」の空気を肌で感じる機会を提供してください。短時間の見学でも大きな学びになります。



## 課題提供・講評

生徒のテーマ設定のヒントとなる課題提供（企業課題の提示）や課題研究発表会（12月）への出席・講評など。



## その他

得意とする分野に関する講義や講演、実技指導など。

✓時期や頻度は、貴社のご都合に合わせて柔軟にご相談させていただきます。

✓もちろん、生徒の活動に寄り添った伴走支援（週1ペース、半年間など）もお待ちしております。

# 企業様にとってのメリット

## 1 将来の人材確保・PR

就職活動前の早い段階で、地元高校生に貴社の魅力や仕事の意義を直接伝えられます。地域内での認知度向上にも繋がります。

## 2 若者の発想を活用

高校生の柔軟なアイデアやDXスキルを、貴社の課題解決（新商品開発や販促など）のヒントとしてご活用ください。



### 地域貢献の可視化

「地元の教育を支える企業」としての  
ブランド価値を高めます。

# 連携マッチングまでの流れ（イメージ）

## フォームアンケートでの ヒアリング

どのような分野で、どのような形で  
どのような頻度でご支援可能かを  
ヒアリング

## 4月～生徒の学習活動開始

課題研究での探究活動（研究テーマ設  
定）、各教科での学習、部活動など令和8  
年度の学び開始

## 学校外への支援ニーズの 要望

生徒が学びを進める中で、学校内のみでは  
解決しない課題の出現

## 該当指導教員と企業担当者様と マッチング会議

支援内容や頻度など、当事者同士で  
お互いが無理なく協働できる  
具体の形の擦り合わせ。

## プロジェクト担当者から 企業様へ問合せ

支援希望を企業担当者様に打診、  
マッチングに関して対応可能かどうか  
再確認。

## アンケートデータから 支援希望を検索

生徒と指導教員がアンケートのデー  
タベースから、支援の希望をしたい企業様を  
ピックアップ。

連携スタート！！

# まずは情報交換から始めませんか？

「自社でどんな協力ができるか分からない」という場合でも、お気軽にご相談ください。  
石狩翔陽高校は、地域の皆様と共に歩む学校を目指します。

## 北海道石狩翔陽高等学校

担当：総合学科推進部 高橋 良和

0133-74-5771

rocker@hokkaido-c.ed.jp



お申し込みフォーム  
(またはこちらをクリック)